

新しいホテル管理システムの導入で、部署間の連携がスムーズに ～小京都の湯 みくまホテル様の取組事例～

カテゴリー  予約・デスク

施設情報

施設名 小京都の湯 みくまホテル 客室 43室 創業年 1951年

課題の背景

- 予約情報を紙で管理し、情報共有に多くの時間がかかっていたため、業務負担を軽減したい。

導入ソリューション

PMS（ホテル管理システム）

- 予約・顧客情報をデジタルで一元管理。
- 厨房には壁掛けモニターを設置し、情報の視認性と共有性を高めた。
- 既存の顧客データをスムーズに新システムへ移行できたことも導入の決め手となった。



導入による効果

1. フロント業務の効率化により、1日あたり約2時間の作業時間を削減
2. 厨房ではホワイトボード運用を廃止し、情報更新の手間を大幅に軽減

事業者・スタッフ様の声

1. 厨房との情報共有がスムーズになり、毎朝のホワイトボード作業がなくなって本当に助かっています。
2. フロント業務の手間が減り、チェックイン前後の接客に時間をかけられるようになりました。
3. 業務が効率化されたことで、スタッフの休暇取得がしやすくなり、職場全体の雰囲気も良くなりました。

課題

期待する効果

予約内容を手書きで転記・配布する作業に1時間半以上かかり、フロントや厨房の業務を圧迫していた。

クラウドPMS導入により情報が自動反映され、フロント業務の省人化と厨房との連携がスムーズに。



ホワイトボードを使った厨房での手作業による情報管理が非効率で、更新作業が煩雑だった。

大型モニターでリアルタイムに最新情報を表示することで、記入作業を削減し、視認性と効率を向上。

